中京大学社会科学研究所台湾史研究20周年記念
2002年 第二回国際シンポジウム

台湾の近代と日本

日程:2002年10月26日(土)~27日(日)
主催:中京大学社会科学研究所

会場:中京大学ヤマテホール
後援:交流協会・台北駐日経済文化代表処

第1日 10月26日(土)9時30分~18時

挨拶

挨拶

来賓挨拶

来賓挨拶

来賓挨拶

基調報告1 日本における台湾史研究の現状と課題

基調報告2 台湾史研究の現状と課題

中京大学学長 小川英次氏
中京大学社会科学研究所所長 安村仁志氏
国立台湾師範大学教授 呉文星氏
交流協会理事長 後藤利雄氏
台北駐日経済文化代表処駐日代表 羅福全氏
中京大学教授 檜山幸夫氏
中央研究院台湾史研究所籌備処主任 劉翠溶氏

パネルディスカッション 12時30分~18時

国際化時代における史料のデジタル化とネットワーク化

1. 台湾における歴史史料の共用と電子情報化の現状 行政院文化建設委員会副主任委員 呉密察氏
2. 公文書 アジア歴史資料センターにおける電子情報化の現状 アジア歴史資料センター資料情報専門官 瀬野清水氏
3. 私文書の公開と共用化について 歴代台湾総督及び民政長官関係文書を中心に 駿河台大学教授 廣瀬順皓氏
4. 歴史資料としての記憶 台湾史研究とオーラルヒストリーの採集 群馬大学助教授 所澤潤氏
5. 日台交流センターにおける台湾関係史料情報の提供について 交流協会日台交流センター 野村英登氏
6. 台湾総督府文書の目録編纂について 中京大学社会科学研究所 東山京子氏
7. 台湾総督府法院文書目録編纂について 国立台湾大学教授 王泰升氏
8. 中国・台湾における台湾史関係史料について 北海道大学助教授 川島真氏

第2日 10月27日(日)9時30分~18時

第1セッション【戦時下の台湾】9時30分~11時30分

1. 海南島占領下の台湾人 中央研究院台湾史研究所助研究員 鍾淑敏氏
2. 戦争下の台湾における「工業化」 国立政治大学教授 黄紹恒氏
3. 戦時下台湾のメディア統制と言語問題 台北師範学院助教授 何義麟氏
4. 敗戦と日本人引揚 国文学研究資料館史料館助手 加藤聖文氏

第2セッション【東アジア世界における日本と台湾】12時30分~14時30分

1. 台湾史の歴史叙述の可能性への模索 - 17世紀の台湾を例として - 中央研究院台湾史研究所副研究員 周婉窈氏
中京大学専任講師 古川浩司氏
2. 日本の台湾領有と東アジア海洋世界の再編
3. 1905年臨時台湾戸口調査と「内地人」の視線
「異種殊俗ノ人類棲息スルコト、母国ニ視ル能ハサル所ナリ」 淡江大学助教授 富田哲氏
淡江大学副教授 蔡錦堂氏

第3セッション【日本統治下における台湾社会の変容】14時30分~18時

1. 台湾窮民の生活と社会事業 台湾における昭和初期社会調査からの一考察 中京大学教授 大友昌子氏
2. 台湾原住民政策と帝国の学知 領台前期を中心に 愛知教育大学助教授 松田京子氏
3. 植民地期台湾における仏教の近代化と教育 私立台北中学校の沿革に着目して 宇都宮大学専任講師 松金公正氏
石川県立歴史博物館主査 本康宏史氏
愛知教育大学教授 中田敏夫氏
国立台湾師範大学教授 呉文星氏

電子情報化の実演コーナーを設置

アジア歴史資料センターと台湾の中央研究院台湾研究所籌備処で電子情報化されている歴史史料を、コンピュータを使って検索を行う実演コーナーです。

シンポジウムに参加を希望される方は、氏名・所属・職位・専門・住所・電話・FAX・電子メールなどをご記入の上、必ず郵便又はFAXにて10月10日までにお申し込みください。

なお、参加者については定員になり次第締め切らせていただきます。

申し込み先: 中京大学社会科学研究所 〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2

FAX: 052-835-2613

<http://www.chukyo-u.ac.jp/research/irss/taiwan/index.htm>